

生活困窮世帯の子ども及び家庭に対する 新型コロナ・物価高騰の影響調査 報告書

～中高生の子どもがいる保護者888名へのアンケート調査～

（発行日 2023年4月）

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

目次	P 2
----	-----

1. 調査概要	P 3
---------	-----

2. 調査結果	P 8
---------	-----

調査結果のサマリー	P 9
-----------	-----

(1) - ① 新型コロナ発生後の世帯所得の変化	P 10
--------------------------	------

(1) - ② 新型コロナ発生後の世帯所得の減少割合	P 11
----------------------------	------

(2) - ① 物価高騰の影響	P 12
-----------------	------

(2) - ② 物価高騰の学習・教育支出への影響	P 13
--------------------------	------

(2) - ③ 物価高騰の学習・教育支出への影響（支出内容別）	P 14
---------------------------------	------

(3) 子どもの学習に関する困りごと	P 15
--------------------	------

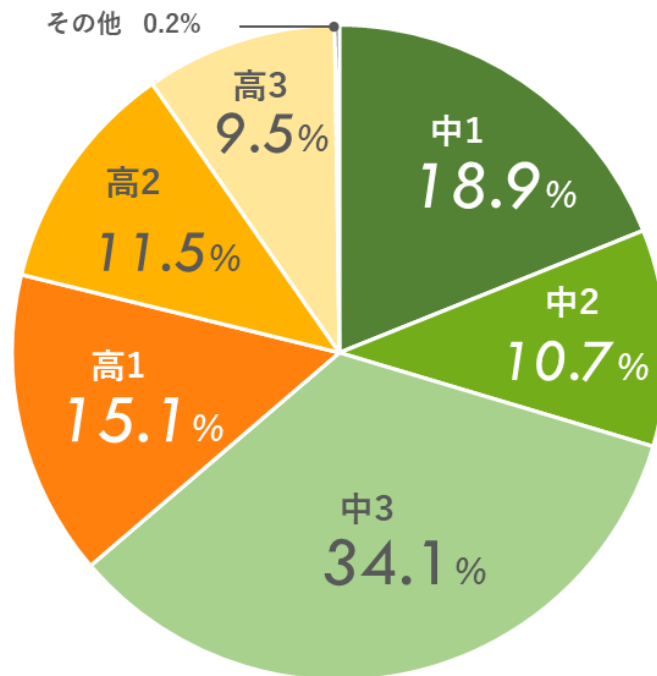
3. 当事者の声	P 16
----------	------

4. まとめ	P 21
--------	------

調査概要

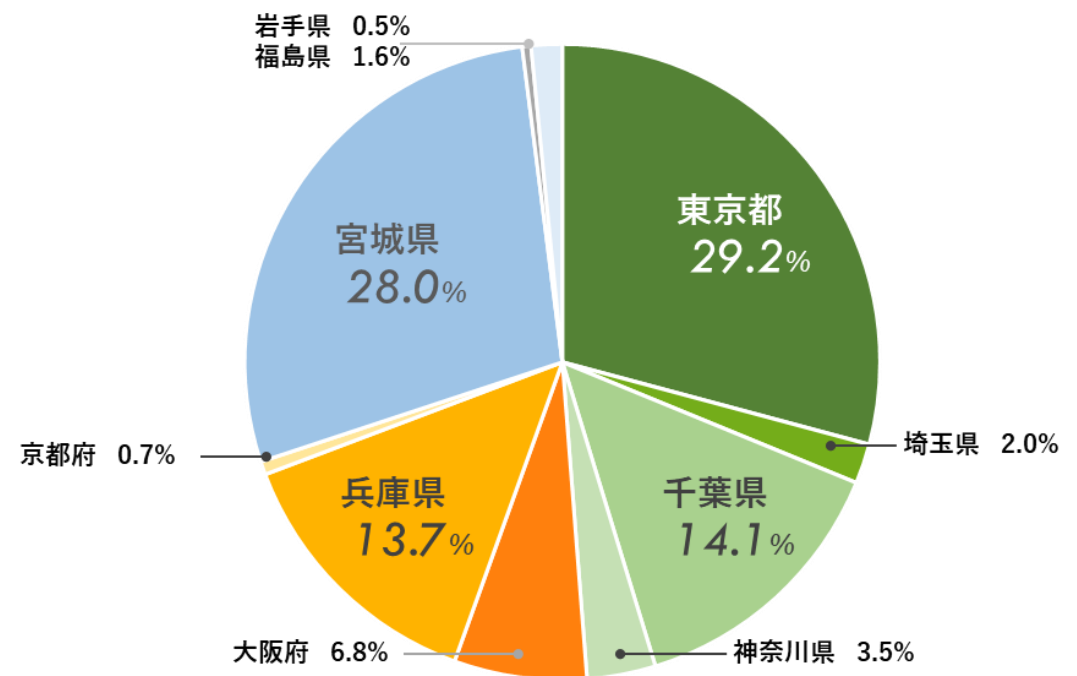
目 的	発生から3年が経過した新型コロナの影響が、現在の生活困窮世帯の子どもの教育や生活にどのように及んでいるかについて、近年の物価高騰による影響とあわせて調査することで、生活困窮世帯が直面する課題やニーズ等を把握し、適切な支援制度の検討を行う。
対象者	CFCのスタディクーポン（学校外教育費補助）利用者募集に申請した保護者（子どもの学年：中学生・高校生） ※CFC（=チャンス・フォー・チルドレン）は、生活困窮世帯の子どもの学習塾・習い事等で利用できるクーポンを提供している。クーポン利用者の所得基準は、住民税（均等割）非課税世帯、児童扶養手当受給世帯、生活保護受給世帯である。なお、本アンケート調査は、クーポンの提供を行う前（申請段階）に実施した。
調査項目	・ 新型コロナ発生前（2019年）と2022年を比較した世帯の年間所得の変化 ・ 物価高騰による家計への影響、子どもの学習／教育関連支出の変化 ・ 新型コロナや物価高騰による子どもの学習についての困りごと など
調査期間	2023年2月10日～3月10日
調査方法	WEBアンケートフォーム
回答者数	888名 ※本調査の集計に際しては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%とならない。
実施主体	公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

子どもの学年

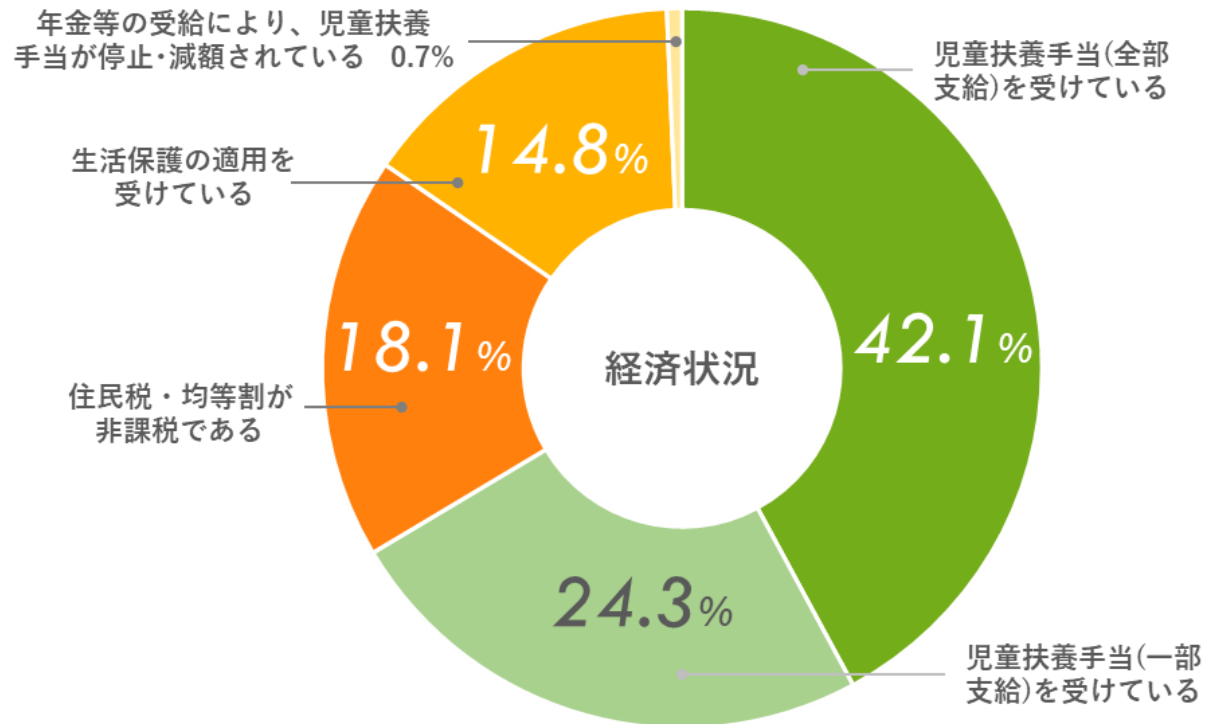


(n=888)

居住地域

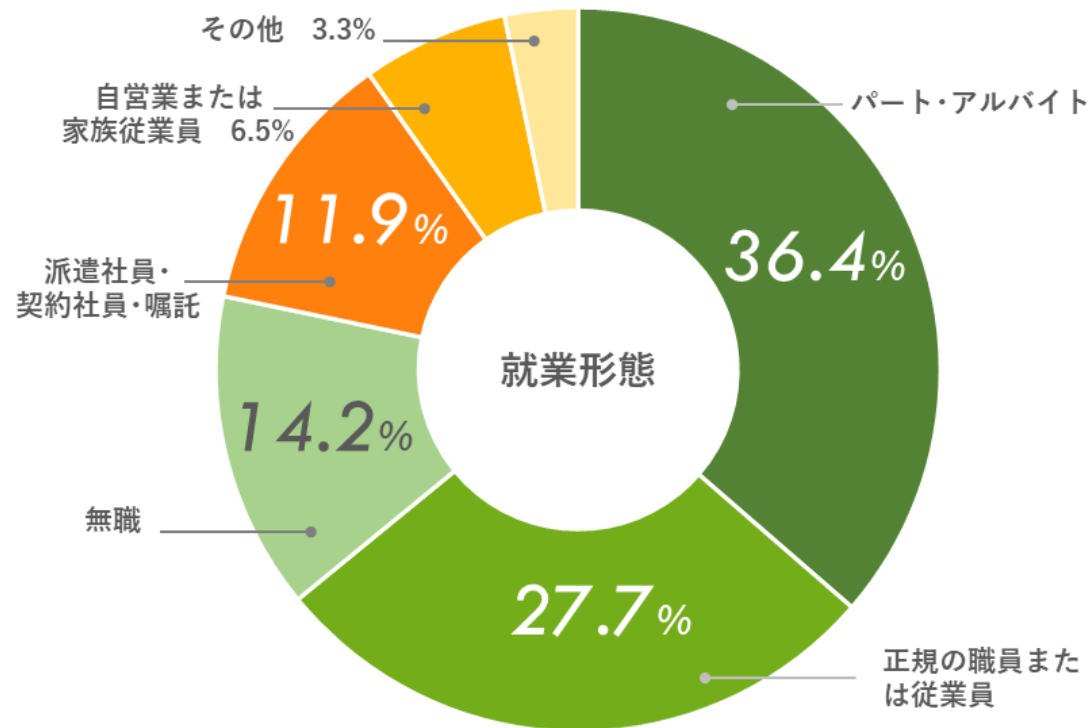


(n=888)



(n=888)

あなたの世帯の主たる生計維持者について、現在の就業形態を教えてください。



(n=888)

調查結果

結果1 新型コロナ発生前（2019年）と2022年を比較すると、4割以上の生活困窮世帯が、新型コロナ発生前の所得水準に戻っていない

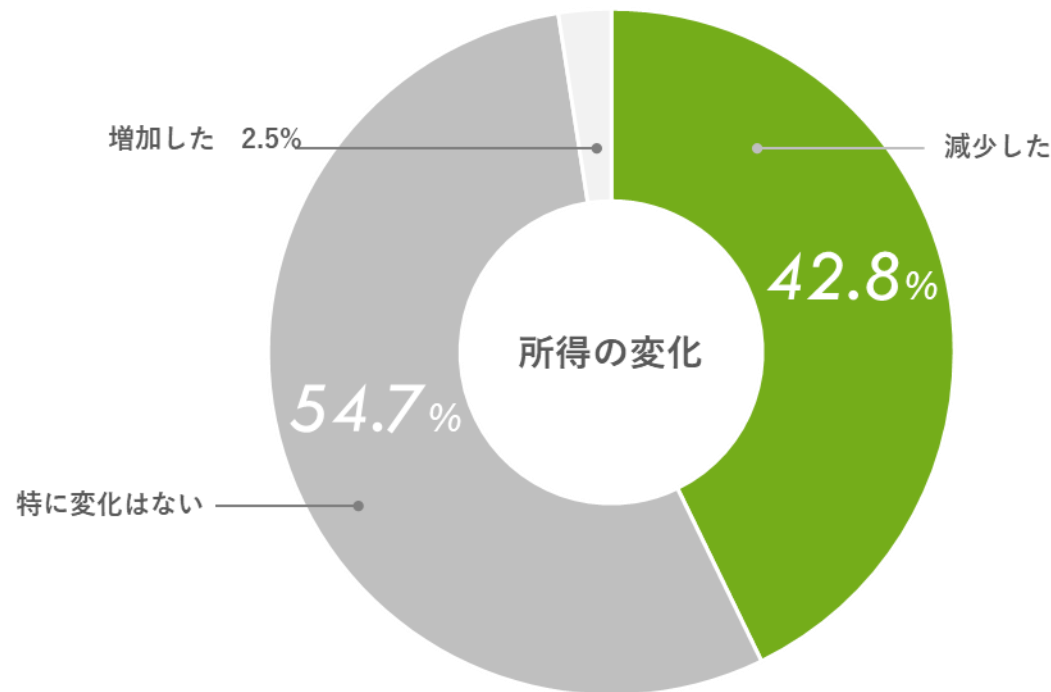
結果2 物価高騰の影響により、約9割の家庭が子どもの学習・教育関連の支出を減らした、または減らす見込みだと回答した

結果3 コロナ禍や物価高騰の影響により、3～4割以上の家庭で学校外教育を利用する機会の減少や子どもの学力・学習意欲の低下などの困りごとが見られた

(1)-① 新型コロナ発生後の世帯所得の変化

生活困窮世帯の4割以上（42.8%）が、
新型コロナ発生前よりも、2022年の年間世帯所得が減少した

あなたの世帯の1年間の所得は、2019年（新型コロナウイルス発生前）と2022年でどのように変化しましたか。



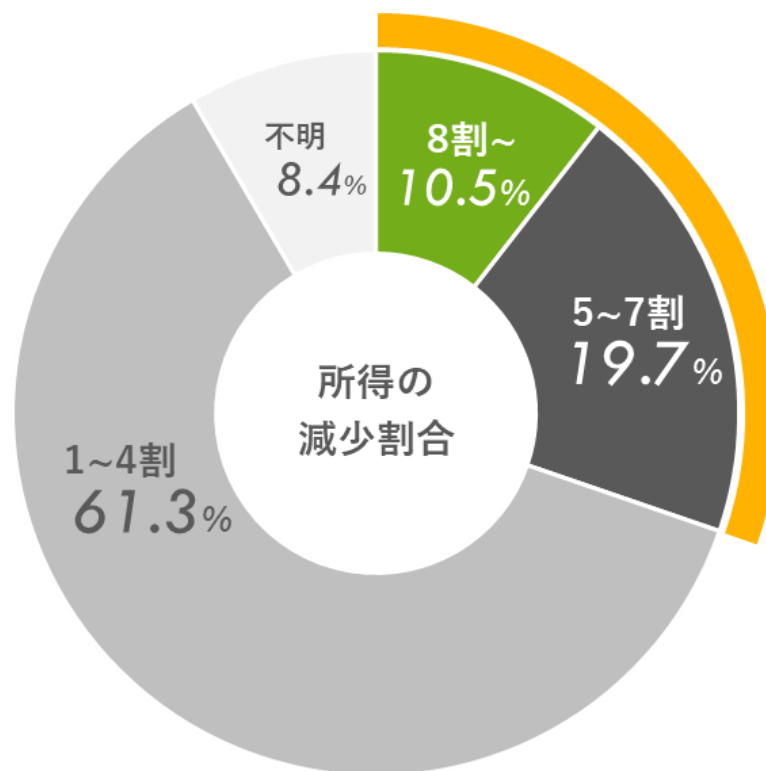
(n=888)

(1)-② 新型コロナ発生後の世帯所得の減少割合

「（新型コロナ発生前よりも）世帯所得が減少した」と回答した生活困窮世帯のうち、
約3人に1人は世帯所得が5割以上減少したと回答した
(5～7割減少：19.7%、8割以上減少：10.5%)

※世帯所得が減少した回答者のみの集計

あなたの世帯の1年間の所得について、2019年（新型コロナウイルス発生前）と2022年を比較してどれくらい減少しましたか。

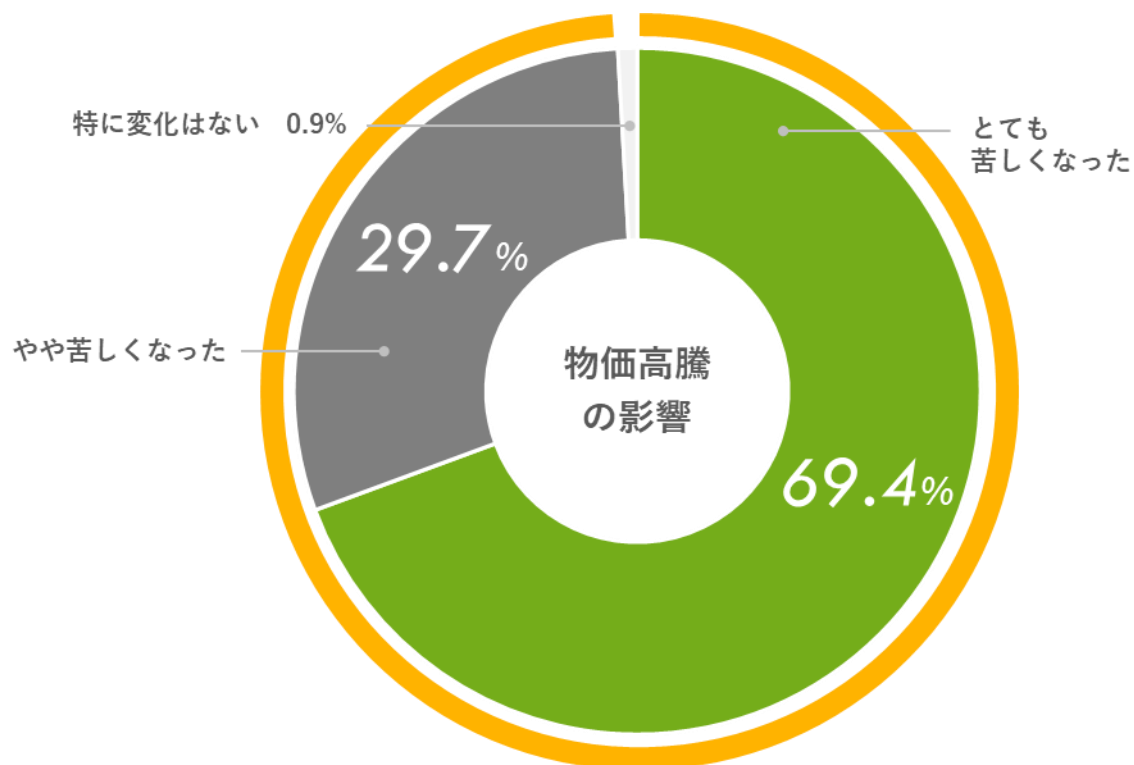


約1割減少した	19.7%
約2割減少した	20.3%
約3割減少した	13.9%
約4割減少した	7.4%
約5割減少した	12.9%
約6割減少した	3.2%
約7割減少した	3.7%
約8割減少した	4.7%
9割以上減少した	5.8%
分からない	8.4%

(n=380)

生活困窮世帯の99.1%が、物価高騰の影響により
家庭の経済状況が苦しくなったと回答した
(とても苦しくなった：69.4%、やや苦しくなった：29.7%)

物価高騰の影響により、家計の経済状況はどのように変わりましたか。

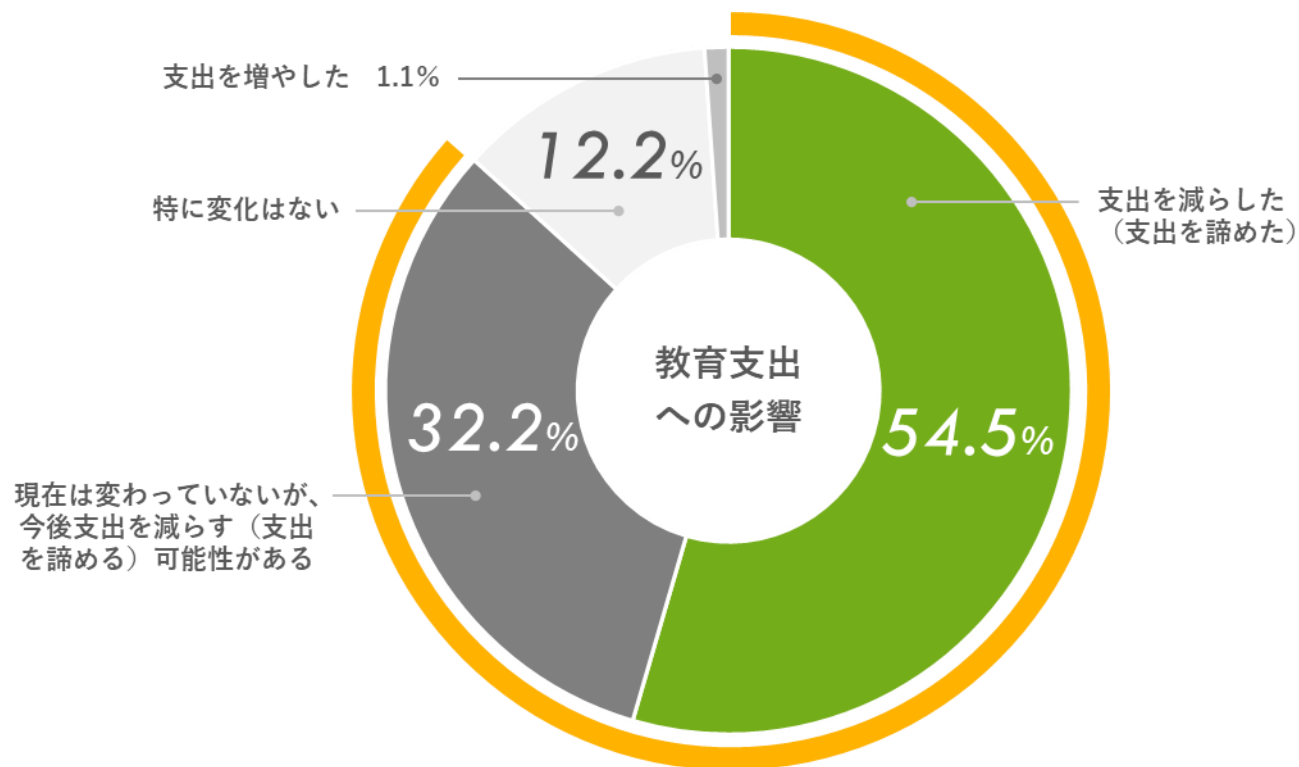


(n=888)

(2)-② 物価高騰の学習・教育支出への影響

物価高騰により、すでに5割以上の家庭で子どもの学習や教育に関する支出が減少しており、
今後減少する可能性も含めると約9割にのぼる
(既に減らした：54.5%、今後減らす可能性がある：32.2%)

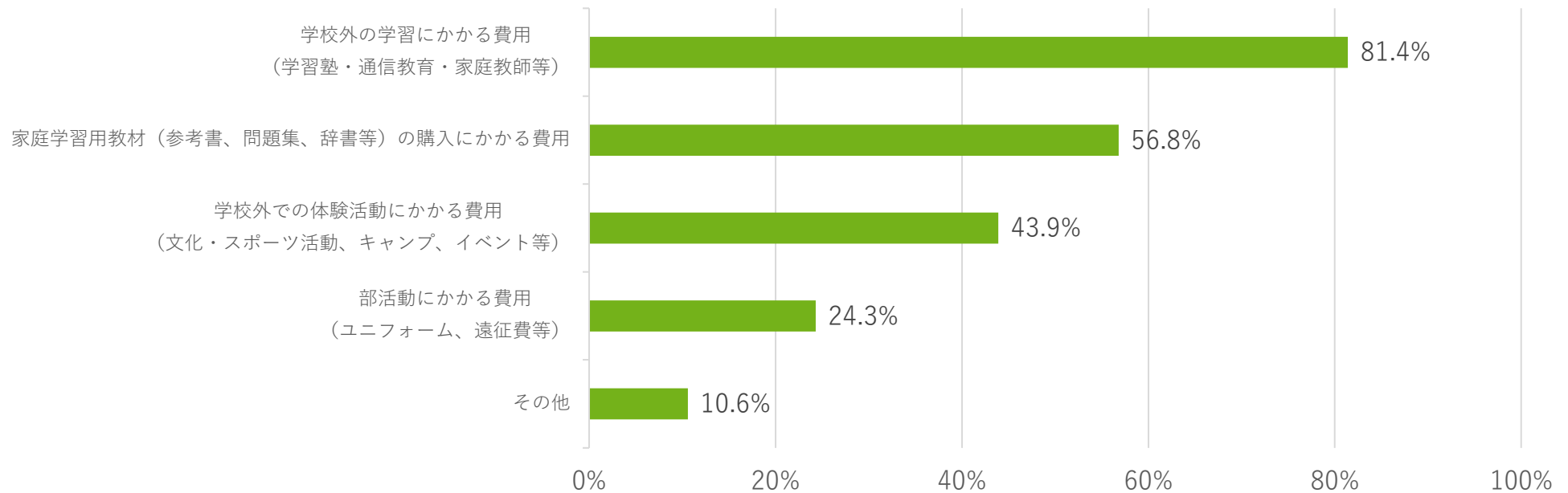
物価高騰の影響により、お子様の学習や教育に関する支出に変化がありましたか。



子どもの学習・教育に関する支出のうち、
「学校外学習費」の支出を減らした（今後減らす可能性含む）家庭が8割に上るほか、
「家庭学習教材費」と「学校外の体験活動費」についても、約4～6割の家庭で
支出が抑えられる傾向が見られた

※「学習・教育支出を減らした（または減らす可能性がある）」を選択した回答者のみの集計

お子様の学習や教育に関する支出について、既に減らしたものや、今後減らす・支出を諦める可能性があるものを教えてください。

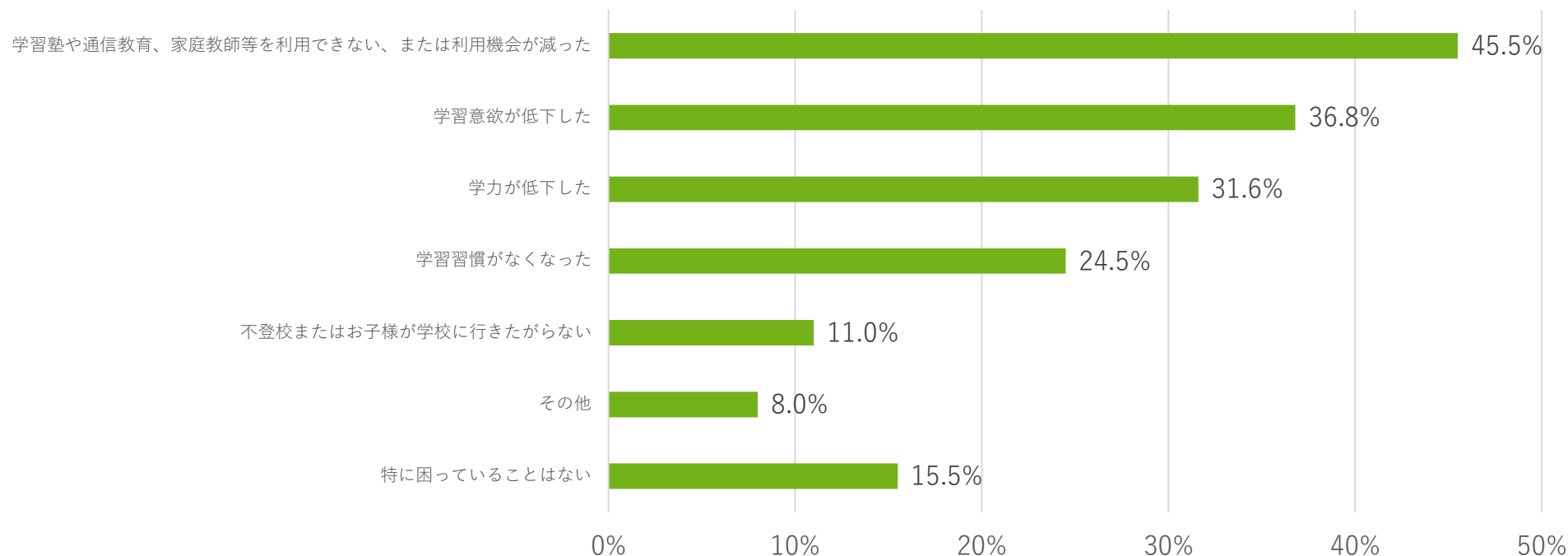


(n=770)

(3) 子どもの学習に関する困りごと

コロナ禍や物価高騰の影響により、4割以上の家庭で学校外教育を利用する機会の減少、
3割以上の家庭で子どもの学力や学習意欲の低下などの困りごとが見られた
また、1割以上の家庭で、不登校または学校に行きたがらないという困りごとが見られた

コロナ禍や物価高騰による生活や家計の変化に伴い、
直近の1年間でお子様の学習についての困りごとがあれば教えてください。（複数回答）



(n=888)

当事者の声

コロナ禍で中学に入ってすぐに自宅待機になり、学力、意欲が低下して、今は学校の授業についていけない。その為、学校以外の個別指導塾等で、勉強のやり直しをしたいが、クーポン等の支援が無いと、それも出来なくなってしまう。

(東京都／高校1年生保護者)

コロナ禍で収入が激減したことに加え、物価高騰や光熱費高騰の影響で、エアコンを使用せず、室内でも重ね着をして寒さ対策をしています。また、パソコンが壊れていても買い換えられず、4月から高校に進学する息子の学習に影響がでないか心配です。

(兵庫県／高校1年生保護者)

前職がコロナの影響により倒産し、現在は派遣社員として働いていますが、以前ほどの収入がなく、高校受験のため塾に通わせたいが余裕がありません。入学資金についても不安があります。

(宮城県／中学校3年生保護者)

コロナ禍で世帯主の給与が8割減になり子供の塾をやめてもらうしかなかった。塾をやめてから学習意欲や登校意欲が下がり不登校ぎみになってしまいました。

(宮城県／高校3年生保護者)

このまま全ての物が高騰していくと思うと、私の収入で育てて行けるのかとても不安です。子ども達には夢があります。塾にも笑顔で行かせてあげたいです。心配しかありません。

（宮城県／中学校3年生保護者）

高校受験に向けての勉強の為に、せめて中学3年の間は塾に通わせてあげたいのですが、水道、光熱費の高騰、食費の高騰で思うようにお金が回らず、子供の将来を潰してしまうのでは無いかと不安です。

（兵庫県／中学3年生保護者）

軽度知的障害がある息子ですが、英語は得意で本人も好きなので伸ばしてあげたいと思っているのですが、英会話教室に通わせるお金がありません。我慢をさせてる状況です。

（宮城県／高校2年生保護者）

2人親の非課税世帯には支援があまり無く、大変で兄弟は下に行くほど我慢をさせてしまいがち。今年は上の子の受験もあり、下の子の習い事など辞めさせたり可哀想だった。

（神奈川県／中学校1年生保護者）

今後、どこまで物価や光熱費が高騰するかとても心配しています。生活の質が下がっていくのを実感しており、上の子だけでなく小学生の子供もスポーツや学習に関わるものを遠慮するようになってきました。子供達の意欲を削ぎたくない気持ちがあるものの金銭的な面で応援、伴走してあげられないところが親として不甲斐なく感じています。

（東京都／高校2年生保護者）

令和4年6月に失業してから定職に就けず、不安定で少ないアルバイト収入でやり繰りしています。塾に通わせることが出来ず学力が落ち、学校でも集中出来ず結局内申点が悪く私学に進学する事になり、わずかな貯金を崩す事になり将来不安な事がいっぱいです。

（大阪府／高校1年生保護者）

習い事をさせたくても収入と支出のバランスがなかなか取れないので他の習い事を辞めてとか色々考えないといけないのが辛いです。可能性を伸ばしてあげたいのにしてあげられないのは親として辛いです。

（宮城県／中学校3年生保護者）

生活水準を変えずに子どもには、のびのびと勉強や部活をしてもらいたかったが、物価高騰のため塾を辞めることになったので、勉強の仕方がイマイチわからなくなっている様子。受験生になるので、目指したい高校へ進学できるよう手助けがしたい。

（兵庫県／中学校3年生保護者）

本人の学費の捻出と共に弟の受験に伴って塾代が多くかかり、本人の希望する習い事に通わせてやることができませんでした。また学習に必要なパソコンやタブレットなども購入もできずにあります。（中略）いろんなことを我慢させており申し訳ない思いでいっぱいです。

（兵庫県／高校3年生保護者）

娘も私も我慢する事が増えてギクシャクしてしまいます。うまくストレスを発散したくても心配ばかりがつきまとして、今後の更なる物価上昇が本当に怖いです。目の前の事を考えるのが精一杯で、どんどん視野が狭くなっている感じがします。

（神奈川県／中学校3年生保護者）

同居の母が倒れ生活が一変してしまい、娘はヤングケアラーとなりました。ひとり親で苦労もさせていたのに更に苦労や制限をかけてしまって親として苦しいです。その上物価高騰で私は正社員で就業しているものの、手取り額が多い訳ではなく、娘にも様々な我慢をしている事に悔しさが込み上げてきます。

（神奈川県／高校3年生保護者）

収入は変わらないのに、支出だけが増えて非常に苦しい。夏期講習や冬期講習などに行かせてあげたいが、このままの状況だと難しい。

（東京都／中学校3年生保護者）

まとめ

(1) 新型コロナの影響の長期化

- ✓ 新型コロナ発生から3年が経過したが、今回の調査結果からは、生活困窮世帯において依然として新型コロナ以前の世帯所得に満たない家庭が4割以上（42.8%）に上ることがわかった。また、世帯所得が減少した世帯の約3人に1人は、新型コロナ発生前と比較して世帯所得が半分以下にまで減少していることが明らかになった。
- ✓ また、保護者からは、新型コロナによる就労状況の変化や給与所得の減少、自宅待機による子どもの学習への影響が続いている等の声が寄せられており、今なお、家庭生活や子どもの学習・教育に負の影響を及ぼしていることが見て取れる。

(2) 物価高騰による子どもの学習・教育関連支出への影響

- ✓ 物価高騰による家計の経済状況の変化について、「とても苦しくなった」または「やや苦しくなった」と回答した割合が99.1%に上り、ほぼ全ての生活困窮世帯が、物価高騰による家計の経済状況の悪化に直面していることがわかった。
- ✓ 経済状況の悪化に伴う影響は、子どもの学習・教育関連支出にも及んでおり、86.7%がすでに支出を減らしたか、今後支出を減らす可能性があると回答している。また、支出を減らした（減らす可能性がある）ものとして「学校外学習費（学習塾等）」との回答が81.4%に上るほか、「家庭学習用教材の購入費」（56.8%）や「学校外の体験活動費」（43.9%）についても支出を減らす傾向が見られた。

(3) 子どもの学習機会・学習意欲等への影響

- ✓ 今回の調査では、新型コロナの世帯所得への影響が長期化していること、さらに近年の物価高騰が、家計の経済状況の悪化と子どもの学習・教育関連支出の減少に大きく影響していることがわかった。
- ✓ また、新型コロナおよび物価高騰は、生活困窮世帯の子どもの学習面における様々な困りごとの要因にもなっており、3～4割の家庭で「学校外教育（学習塾等）の利用機会の喪失・減少」や「学習意欲の低下」、「学力の低下」等の困りごとを抱えていることが明らかとなった。また、1割以上の家庭で、「不登校または学校に行きたがらない」という困りごとが見られた。
- ✓ こうした学習面での困りごとが長期間続くことにより、将来的に子どもの進路選択を妨げ、大人になってから得られる収入等の格差を生むなど、貧困の世代間連鎖に発展していく恐れがある。